

授業構想シート(改)

第 学年 第 回道徳

令和 年 月 日() 時間目

1 主題

相手の気持ちを考える

内容項目

B9相互理解、寛容

各教科等との関連/内容項目間の関連
・デジタル・シティズンシップの学習テーマ
【対人関係とコミュニケーション】
・技術・家庭科(技術分野)

2 主題設定の理由

道徳的価値観

相互理解、寛容の内容項目は学習指導要領で、「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと」と示されている。人間は、自分なりの角度や視点から物事を見ることが多く、それぞれ自分のものの見方や考え方がある。そのため、互いが相手の存在の独自性を認め、相手の考えや立場を尊重することが大切であり、自分自身も他者も、それぞれのものの見方や考え方にとらわれ、過ちを犯しやすい人間であると深く理解することで、自分と異なる他者の立場や考え方を尊重することができる。また、自分のものの見方や考え方を広げて確かなものにしていくためには、他者に学ぶことが大切であることに気付くことができ、他者の助言や忠告に謙虚に耳を傾けることが必要である。そのため、寛容の心や他者の意見を認めて素直に取り入れる謙虚さをもって他に学び、自己を高めることが求められる。

生徒観

中学校の段階では、新たな人間関係の中で多様な見方や考え方に出会っていく。その中で、自分の考えや意見に固執したり、意見が異なることを恐れたり、無理に同調したりすることもある。そこで、学習を通して、オンライン上においては、様々なものの見方や考え方があることに気付かせるとともに、他者の考えや立場を理解して生活していくことが、調和のある生活につながることを考えさせたい。

教材観

教材名：言葉の向こうに(日本文教出版)

本教材は、主人公が応援するサッカー選手についてのネット上でのやりとりから、多様な考え方があることを理解し、オンライン上でコミュニケーションをとることの大切さに気づいていく教材である。オンライン上でのやりとりだけに限定せず、現実世界のやりとりにも通じるものがあることを考えさせることができる。

【評価の視点】

視点1：一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか

- ①道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている
- ②自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている
- ③複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を広い視野から多面的・多角的に考えようとしている

視点2：道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか

- ④読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている
- ⑤現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直している
- ⑥道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている
- ⑦道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている

人間としての生き方について考えを深めているかどうか

3 本時のねらい

いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、オンライン上でよりよいコミュニケーションをしようとする

判断力 ・ 心情 ・ 実践意欲と態度 を養う。

4 本時の学習指導過程 緑字：デジタル・シティズンシップの観点

	学習活動・主な発問	評価とフィードバック 留意事項
導入 5	<p>1. 自分のオンライン上のコミュニケーションについて振り返る。 「グループLINEやオンラインのチャット、オンラインゲームで大勢の人に自分の意見を発信した経験はありますか？」 →「経験のある人は、オンライン上のコミュニケーションで意識していることや困った経験はありますか？」 *オンライン上のやりとりについて、生徒の実態を確認する。 →本時のねらいへとつなげる</p>	
展開 1 2 5	<p>2. 資料を読み、内容を把握する。*指導者範読、内容を簡潔に確認する。 私(加奈子)…A選手のファン、ファンサイトに書き込み ネット上の反応…A選手を批判する人、私の書き込みを批判する人間に入ってくれた人</p> <p>3. 「オンライン上に書き込まれた内容を良いと感じる内容、悪いと感じる内容、どちらともいえない内容、に分けてみましょう。」 自律 (1)個人でワークシートに分類し、近くの人と同じ部分や異なる部分について意見交換する。 (2)1人1台端末で全体の意見を集約し、多くの人々が納得できる悪いと感じる投稿の理由を確認する。</p> <p>4. 「②それなら観客席で…、と⑤中傷を無視できない…の意見が分かれている理由を確認しましょう」 (1)②の投稿を悪いと感じるやどちらとも言えない、としている人の考え方を聞き、周りにそのことについてどう思うか聞く。 (2)⑤の投稿を悪いと感じるやどちらとも言えない、としている人の考え方を聞き、受け止めが様々であることを伝える。 (3)良いと感じる内容はどのようなものか、数人指名し全体で共有し、良い投稿をするためのポイントを考える。</p>	<p>ファンサイトとは、匿名で誰でも書き込みや閲覧ができる、公開制限のないもの、という認識を共有しておく。</p> <p>3. 4の活動は生徒との対話を通して考えを整理していく。情報意識の高い生徒の考えを生かすようにする。</p> <p style="color: green;">投稿に対する多様な受け止めがあることに気付かせ、オンラインの特性によるコミュニケーションの難しさを感じられるようにする。特に肖像権の問題に気付かせたい。</p>
展開 2 4 0	<p>5. 「『私のすごい発見』とは、あなたは何だと思えますか」 ・相手が伝えたいことを想像して受け止める ・オンライン上で顔が見えなくても、相手をイメージして書き込む ・いろんな考えの人がいるということ ・ストレートに受け止めすぎない など</p> <p>6. 「どの段階でどんな行動をしていたらもやもやせずに済んだかな？」 数人指名し、考えを聞き、全体で共有する ・最初に反論したとき 母に注意されたとき ・そもそも書き込まない</p> <p>行動規範 「ワクワクのプロセス」を確認する</p>	<p>評価の視点①【発言・記述】</p> <p>人によって「オンライン上の投稿」への捉え方の差があるので、正解といえる基準はない。指導者の思いを一方向的に伝えすぎないようにする。<u>立ち止まり・考えてから、どのように行動するか、自己決定することの大切さと、そのために「ワクワクのプロセス」を意識することを伝える。</u></p>
終末 5 0	<p>7. 本時の振り返りを記述する。 活用 オンライン上のコミュニケーションについて、自分の考えの変化を振り返る。</p> <p>目指す学びの姿と認められる振り返りの記述例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じ方や考え方は人によって異なるから、自分の意見だけに固執せず、色んな考えがあることを理解できるようにしたい。 ・〇〇さんの他の人の意見の受け止め方になるほどって、思った。自分にはない考え方だったからいいなと思った。 ・オンライン上だと表情がわからないけど、日常の会話と同じように、相手のことをイメージしてやりとりするようにしたい。 	<p>評価の視点②⑤【記述】</p>

Q1 オンライン上のコミュニケーションで意識していることや困った経験はありますか？

Q2 オンライン上に書き込まれた①～⑥の内容を良いと感じる内容、悪いと感じる内容、どちらとも言えない内容に分けてみましょう。当てはまる欄に番号を書いてください。

- ①「おめでとう」
 ②「それなら、観客席で撮影してくれた人のがみられるよ。ほら、ここに」
 ③「Aは最低の選手。あのゴール前はファールだよ、ずるいやつ」
 ④「負け惜しみなんて最低。悔しかったら、そっちもゴール決めたら」
 ⑤「中傷を無視できない人はここに来ないで」
 ⑥「まあみんなそんなきつい言い方するなよ。ネットのコミュニケーションって難しいよな。」

良いと感じる内容	悪いと感じる内容	どちらとも言えない内容

Q3 分類した内容やその理由を近くの人と交流しましょう。その後全体で共有しましょう。

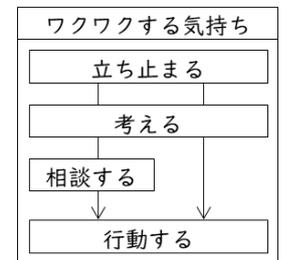
()について、他の人の考え

()について、他の人の考え

Q4 「私のすごい発見」とは、あなたは何だと思いますか？

Q5 オンライン上のコミュニケーションについて、この時間に考えたことを振り返りましょう

ワクワクのプロセス



ワクワクする気持ち
 でい続けるために、
 立ち止まって、考え
 てから行動しよう！